

《健康だより》 コロナワクチンに関する偽情報やデマにご注意

環境保健部 平安山 智子

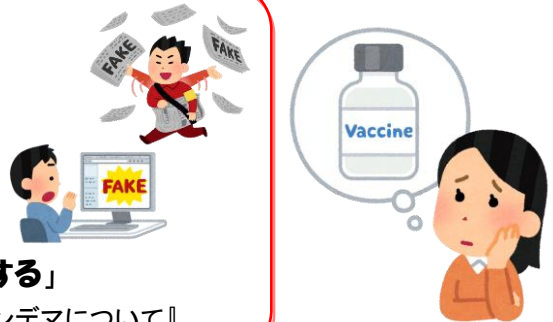
新型コロナウイルスのワクチン接種が進む一方で、偽情報やデマも広がり問題となっています。SNS等の情報の中には事実と異なる根拠のない情報もあります。人づてに聞いた情報はうのみにせず、根拠を確認することが大切です。

ワクチンを打つかどうかは基本的に個人の判断に委ねられていますが、正しく理解していれば過度に怖がる必要はありません。不確かな情報に惑わされることなく、厚生労働省、自治体等の信頼ある機関が発信した裏付けのある最新情報に基づき、落ち着いて行動していただくようお願いいたします。

【偽情報やデマの例】

- × 「若者はコロナに感染しても重症化しない」
- × 「ワクチン接種でコロナに感染する」
- × 「ワクチン接種で遺伝子が組み換えられる」
- × 「ワクチン接種により不妊や流産が起きる」
- × 「卵巣にコロナワクチンの成分が大量に蓄積する」

参考：内閣府特命担当大臣 河野太郎公式サイト『ワクチンデマについて』



令和3年6月

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan 厚生労働省

新型コロナワクチンについて 皆さまに知ってほしいこと

～ワクチンに関する情報を、正確に、わかりやすくお伝えします～

新型コロナワクチンは、高い効果が認められています。

あなたが接種する新型コロナワクチンは、2回の接種によって、約95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果が認められています。（※インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%）

高血圧、糖尿病などの基礎疾患をお持ちの方でも高い発症予防効果が認められています。

新型コロナワクチンは、あなたご自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります。

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。令和3年4月末までに、約59万人が新型コロナウイルス感染症と診断されており、1万人以上の方が亡くなっています（集中治療を要したり死亡する割合は、約1.6%（50歳代以下で0.3%、60代以上で8.5%））。こうした中で、多くの方に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。

ワクチン接種によるメリットが、副反応のリスクより大きいため、接種をお勧めしています。

接種後には、体がワクチンに反応して、接種部位の痛みなどの局所反応や、発熱、頭痛などの全身性の反応が生じる可能性があります。これらの反応は、1回目より2回目の方が多く、年齢が上がるにつれて頻度が低くなるようです。接種は体調が悪くないときに受け、接種後はゆっくり過ごしましょう。

アナフィラキシーなどの重いアレルギー反応を起こしたことがある方は、通常より長く（30分間）経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行っています。

これまでのところ安全性への重大な懸念は生じておらず、接種のメリットが、副反応のデメリットを上回っているため、接種をお勧めしています。

掲載の内容は、今後見直される場合があります。

厚生労働省公式 HP、LINE、Twitter、Facebook でも新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報を確認することができます。



公式HP



公式LINE



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチンQ&A

コロナワクチンナビ

新型コロナワクチンの接種会場を探したり、どうやって接種を受けるかなどの情報を提供しています。



厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

0120-761770

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

受付時間
9時00分～21時00分
(土日・祝日も実施)

